

みなみみのわ 議会だより

No. **148**
2025.2.1
発行

中学生議会**2024**！開催



村議会議場(役場3F)にて
中学生議員のみなさん

一般質問動画 配信中

QRコードから各議員の一般質問動画が
観られます。

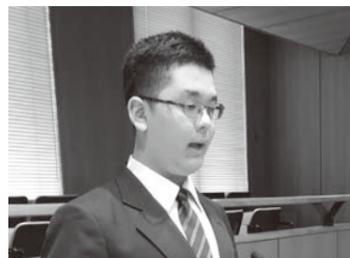
インターネット村ホームページ→村議会→
本会議録画中継→定例会



中学生議会2024！	P2・3
12月定例会・臨時会	P4・5
一般質問	P6～12
議会活動(視察・要望書提出など)	P13～15
村民の声を聴く会開催	P16・17
きらきら村の仲間たち(わくわく拳法)	P18・19
モニターの声	P20

中学生議会2024!

からきゆうた 唐木優太 議員



問 総合的な学習を通じて、村のごみ拾いとその結果から、ごみの分布の分析を行った。その中で「ごみゼロの日」を知ったが、知らない人も多い。有線放送での告知や、インターネット上にカレンダーを掲示しては。また、「ごみゼロの日」とは具体的にどのような活動をしているか。

村長 村では長野県が実施する「統一美化キャンペーンごみゼロの日」に合わせて、ごみゼロと読める5月30日を基準日として一斉行動日を設け、ごみ拾いや地域の清掃をお願いしている。村の美化について認識をもらえるよう、有線放送やインターネットの活用を進めていく。

問 村の豊かな自然をもっと他の市町村にアピールするために、美しい景色をもっと見渡せるような高台や展望台などを設置しては。

村長 高台や展望台はかなりお金が必要となる。まっくん monumento を美しい景色の場所に建て、そこを巡るツアーやインスタグラムへの投稿の働きかけができるのではないかなと思う。

☆感想

「普段見たことも入ったこともなかった場所で、グループを代表して意見を発表することはとても新鮮でとても緊張した。今まで何も知らなかった村の政治とそのようすについて、心と体をもって理解することができた。村長さんはこちらを見ながら発表したり一言一言ハッキリしゃべったりしていて経験の差を感じた」

たかだまい 高田真衣 議員



問 村のイベント開催の情報が子どもたちには届ききっていないのではないかな。情報を届ける具体的な案はあるか。また、小中学生が運営側や盛り上げる側で参加したくなる案として、例えば味工房で使える500円券を特典にしてみても。

教育長 子どもたちに多くの情報が届くように、こども館や村図書館、学校の昇降口にイベント情報板を設置するなどの情報発信をしていきたい。行事やイベントは、子どもたちが参加するだけで盛り上がると思っている。大芝高原まつりのパレードの参加賞は、大芝の湯の入浴券となっているので、ぜひ参加してもらえれば。特典に関しては、参加活動を通しての人とのつながりや経験値、それが本当の特典ではないかなと思う。

☆感想

「自分の思ったことをハッキリ教育長に話すことができたし、村のために意見を言えてとても良い機会になった。子どもたちにイベントの情報を届けるために、学校の玄関前にイベント情報コーナーの案など、確かにと思うことが多かったし、すごくいい意見をもらえて良かった」



QRコードから動画を観てね



しみず 清水こはる 議員



問 村にはPRできる場所が限られていると感じた。新たな観光スポットや観光施設ができれば、より多くの人々が村に足を運んでくれるようになると思う。例えば、子どもたちが遊べる室内トランポリン施設などはどうか。

村長 雨の日でも子どもたちが遊ぶことができ、また保護者がゆったりと見守ることができる施設を作りたいと考えているので、室内トランポリンも検討の一助としたい。

問 大芝高原周辺では多くのイベントが開催されているが、村図書館や不死清水、北殿のエドヒガンザクラなどPRできる場所はもっとある。隠れた名所を知ってもらうために、村内桜巡りスタンプラリーや、大芝の湯と村図書館のタイアップ合同イベントなどを行ってほしい。

村長 村観光協会の職員と意見交換をしていただき、実施に向けて動き出せれば。

観光森林課長 観光協会では自転車で村内各所、例えば不死清水やお四国様などを巡る自転車ツアー、各施設にチェックポイントを設けてポイントを稼ぐロゲイニングなどを実施してきた。中学生のみなさんからもアイデアを出していただき、参加もしてもらいたい。

☆感想

「質問するとき緊張したけど、頑張っ言うことができた。PRグループの代表として質問してみて、あらためて村について知ることができて良かった。他のグループの発表を聞いて学ぶこともできた。村のことに質問する機会が少ないのでいい経験になった。答弁を聞いたので自分たちに考えられることを考えていこうと思った」

11月28日、南箕輪中学校3年生5人が議員として一般質問に臨みました。議長・事務局長も生徒が務め、総合的な学習の中で考えた村の課題について質問し、村長、教育長、担当課長が答弁しました。そのようすを3年生の各教室にライブ配信し、議場の雰囲気共有しました。この経験が今後、生徒たち自ら議論し参画し、課題を解決していく取り組みとして生かされることを願います。

はやし しゅうと 林 秀翔 議員



問 都市化グループでは、村にイオンモールを建てたいという思いで活動してきた。松本市に調査しに行き、市役所職員にも話を聞いたところ、建てるための予算が大きかったり、周りの商業施設が潰れてしまったり、渋滞の問題が発生したりすることがわかった。そこで村民にアンケートをとり、今の村に必要な商業施設を把握し、建設を計画したいと考えている。村にそのような計画はあるか。

村長 商業施設の建設計画が進むにあたり、最も重要視される要素の一つが商圏人口(どれだけ買い物をしてくれる人がその周辺に住んでいるか)というデータである。長野県全体の商圏人口を概念図として表現したデータを見ると村に建てるのは厳しい。また、現状この村で建設する場所を作るには農地を大規模に潰すしかなく、農業を大事にしたいという思いから難しいと思っている。

産業課長 村内に商業施設の建設を計画する場合には、その商業施設が村全体に与える影響を考えながら計画、開発していく必要がある。村が商業施設を誘致するのではなく、逆に民間企業から建設させてほしいと言ってもらえるよう、魅力ある素敵な村にしたいと思う。

☆感想

「初めての議場で緊張してしまっ言葉が詰まったけど、伝えたいことは伝えられたし、そう簡単に商業施設は建てられないと思った」

かさはらるね 笠原瑠音 議員



問 村には特産品がたくさんあるが、「南箕輪村といえばこれ」というものがないように感じ「まっくんクッキー」などを考え試作してみた。「南箕輪村といえばこれ」だと売り出したと考えているものはあるか。

村長 例えば信州大学農学部で開発された赤果肉のリングを利用した「シールドカミーナロゼ」というシードルや、1年中収穫が可能なイチゴ、それを加工した商品など開発していくことで、将来的にはそれが村の特産品になる可能性があるのではないかなと感じる。また、村で生産している「風の村米だより」は、村を代表する特産品としてふさわしいと感じている。

問 炭を使った商品がたくさん売られており、給食でも炭を使ったメニューが出たが、中学生には浸透しづらいように感じる。炭を使ったポップな商品があったら嬉しいが、考えはあるか。

村長 炭を使った商品が20種類ほどある中でポップだと感じるのは、地元高校生が考えたブラックマカロン、炭ワッフルかなと思う。炭商品の元となる炭はテストで作る際には無償で提供しているので、「まっくんクッキー」を試作したように、ポップな炭商品の開発に協力をお願いしたい。

☆感想

「すごく緊張して、質問する時つかえたりしたが、しっかり言い切ることができたので良かった。質問をする速さが少し速くなってしまった。他の中学生議員が聞きやすいようにハッキリとしゃべっていてすごいと思った」

<議長・事務局長>

からさわちひろ 唐澤千尋さん



☆感想

緊張はしなかったので、落ち着いて務めることができた。台本通り進めることができたので良かった。最初の方、早口になってしまったけれどちゃんと話すことができた。

なかやしゅんた 中谷駿太さん



☆感想

村議会は生徒総会とはまた違った雰囲気面白かった。事前に質問の内容を知っていたとはいえ、質問者が満足するような答えをしっかりと出していきわたりやすかった。第2回の生徒総会に向けて、学べることが多かった良い機会になった。

<傍聴していた生徒の感想>

○村のことや気になっていた質問の回答などを聞いて良かった。議会のような見学できて良かった。中学生の意見でも村議会まで届けることができるんだと思った。(唐沢瑛太さん)

○初めて議会に参加して、いろいろな人たちがいる前で堂々と話している仲間がいてすごいと思った。また議会があったら行きたい(村上愛乃さん)

○私も気になっていた村をアピールすることについての質問に対する答弁をその場で聞くことができてとてもいい機会だった。(中澤和奏さん)

○この中学生議会を通してより南箕輪村が活気ある村になってくれたらいいなと思った。また、自分が村に関われることがあればしっかり意見を言えたらいいなと思った。(千賀悠里さん)

<中学生議会担当 木船先生より>

本年度、総合的な学習の時間に「南箕輪村を〇〇したい」というテーマのもと、各グループに分かれて探究活動を行いました。それらの活動を通して感じた、南箕輪村に対する疑問や課題、アイデアなどを率直に伝えられる場として中学生議会を設けていただきありがとうございます。普段は遠くに感じられる行政の役割を身近に感じることができたと思います。

犯罪被害者等支援 条例が成立

12月2日から12月20日までの日程で開かれた12月定例会は、10議案すべて原案のとおり可決、承認となり、陳情1件が採択されました。



	件名(議案名はわかりやすく簡略表記しています)	賛成	反対	議決結果
条例関係	記号式投票*に関する条例を廃止する条例 ▶記号式投票を廃止し、自書式投票*に統一	9	0	可決
	村ふれあい交流センター等の設置条例の一部を改正する条例 ▶フォレスト大芝を加え、各施設の休日を現状に合わせた改正	9	0	可決
	村地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例 ▶包括支援センターの職員配置基準の改正	9	0	可決
	村犯罪被害者等支援条例 ▶被害者等が受けた被害の早期回復や軽減を支援する条例	9	0	可決
令和6年度補正予算	一般会計補正予算(第8号)	9	0	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決
	水道事業会計補正予算(第4号)	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算(第2号)	9	0	可決
その他	専決処分事項の承認を求めることについて ▶衆議院選挙における補正予算	9	0	承認
	工事請負変更契約の締結について ▶南箕輪小学校北校舎改修工事の工期延長	9	0	可決
陳情	建築士事務所賠償責任保険への加入について陳情書 ▶総務経済常任委員会は採択	9	0	採択

主な事業内容と補正額

ふるさと納税業務委託料
3500万円



ワクチン薬剤費
(5種混合になったことによる不足分)
220万円



定例会最終日の動画を
こちらからご覧いただけます

議会の ことば

記号式投票と自書式投票

記号式投票と自書式投票って? (4ページの※注釈)
記号式投票はあらかじめ候補者名が書かれた投票用紙に、記号や特定の符号を使って投票する方法です。自書式投票は投票用紙に候補者の氏名を記入して投票する方法です。記号式は自書式に比べて記載する手間が少なく、開票作業時間が短縮できるメリットがある一方で、投票用紙に候補者全員の名前を印刷する必要があるため、準備に手間と時間がかかってしまうデメリットがあります。選挙によって記号式と自書式を使い分けると投票者が混乱するため、南箕輪村では自書式投票に統一することとしました。

一般質問のその後

定例会で「検討」および「実施する」と答弁した項目の処理状況報告

	質問者・内容	答弁内容	その後の対応
R6年6月定例会	■三澤 澄子 ゼロカーボンに向けてどう取り組むか。	住宅断熱と耐震改修の制度を併用して優先して進める。	庁内の各担当と打ち合わせ会議を開催した。R7年4月からの施行に向け要綱策定に取り組んでいる。
	■三澤 澄子 太陽光発電10kW以上の各区公民館への設置を。	避難所となる公民館は蓄電池の設置が重要。要望のあるLED化と併せて、優先して進める。	国、県等の各種補助金の確保に向け、支援業務をR7年度予算に計上していく予定。
	■三澤 澄子 村文化財の保管、整理、展示に旧大芝荘の活用を。	旧大芝荘は部屋が大きく、窓の陽射しを遮る工事、空調、セキュリティ等の課題もある。環境を整えて虫干し、整理に活用したい。長い展示は難しく、限定しての利用となる。	約200点ある巻軸(掛軸)を11月19日から順次、旧大芝荘で整理・虫干し作業をしている。展示会は、整理・虫干しの状況により検討していく。

<議会を傍聴しませんか?>

どなたでも傍聴できます

一次回定例会は—

2月27日(木)から開催予定です。

決定日時はホームページでご確認ください。

お問い合わせは議会事務局(72-2361)まで





問 人と人がつながる施策の取り組みは

答 持続可能な自治会検討委員会の発足だ(村長)

三澤 澄子

問 人と人がつながる施策の取り組みは。

村長 人と人・自然とのつながりはこれから具体化していく。任期前半はコロナ感染が猛威を奮っていて人と人の交流は不適当な時期。5類移行後はイベント再開などつながりを元に戻すことを優先した。自治会検討委員会で住民の自治を進める環境を整えたい。

問 検討会で村報配布と不燃ごみの収集立ち合いが外部委託になった。委託費の変化は。逆に人と人のつながりが薄くなった。村民の声を聞いて熟考を。

村長 若い人の働き方が多様になって、立ち合いの負担等軽減する。広報配布は当初4～7日遅れたが、改善している。区へ出していた委託費は125万円で業者委託費は164万円増になった。3地区アンケートを集計してデジタル化を推進する。

問 人と人をつなぐために世代を越えて交流できる場所を。地区公民館に人的、運営管理の支援は。図書館、村民センター、こども館連携でフリースペース、学習スペースの確保を。

村長 重要な視点だ。ベンチと机を置く等気軽に集まれる場所を作る。南原区の「楽集会」の取り組みは他地区でも参考になる。集落支援員の制度を活用し、希望の区へ人的支援を行う。

教育長 地区公民館の子ども食堂はいい取り組み。フリースペースは各施設連携して広げたい。利用時間の延長、土日の利用等検討する。

大芝高原の課題と道の駅について

問 大芝高原道の駅の定義、設置基準、登録施設は。

村長 H30年7月、地域振興、観光振興に期待してオープンした。道の駅は一般道に面して

道路利用者の休憩や情報発信、地域連携の施設で、24時間無料で利用できるトイレ、駐車場を備える。味工房とトイレ周辺が登録されている。

問 運営主体と経営状況は。

村長 奥まわって施設が見えないが、大芝の良さを活かした道の駅にしたい。経営主体は開発公社で、社長が駅長を兼ねている。味工房の収入は6551万円、費用は9644万円で、2700万円指定管理費を充当したが、2023年は390万円赤字になった。3年間の経営改善プランを策定した。12月～2月の閑散期対策に新製品開発等取り組む。

問 大芝荘、パル大芝等整備して農産物直売や休憩できる場所に。通年つどえる道の駅に。

村長 施設活用は道の駅エリアの拡大と合わせて検討していく。

問 大芝高原の遊具、アスレチック、スポーツ施設の整備、改修は。

村長 アスレチックはR4年～5年はターザンロープ等8基改修、新設した。R6年は丸太ツリー等2基を改修、R7年から2～3基ずつ入れ替える予定。インクルーシブ遊具はR6年度中に完成する。老朽化したものも撤去改修する。野球場改修はバックスクリーン等改修、防護マットは多額の整備費用が必要で各種助成金を活用していく。R7年信濃グランセローズの公式戦も大芝で行いたい。



人気のアスレチック



問 運転免許証返納者への補助見直しを

答 タクシー券助成を拡充していく方針(村長)

百瀬 輝和

問 運転免許証返納者への村の補助には「高齢者および障がい者タクシー利用助成券」の補助があるが、交付枚数と1回の利用枚数や運転経歴証明書申請への助成を見直しは。

村長 R2年度見直して今の制度になっている。現在、村地域公共交通計画でタクシー利用助成を利用できる人の範囲と額を拡大していく方針で検討を進めている。R7年度に詳細設計を行い、R8年度から事業実施ができるように担当課で進めている。

問 ゼロカーボン推進と温暖化対策の取り組みで、村独自の太陽光発電パネルへの補助金制度を作らないか。

村長 村では2019年に県が表明した「気候非常事態宣言2050年ゼロカーボンへの決意」に賛同している。また2030年度温室効果ガスの実質排出量削減目標を2010年度比-60%と設定している。この目標を達成するために、提案の補助金は有効な手段であるが一方で、予算には限りがあり優先順位をつけて取り組む。村独自の補助金制度創設を進めるための予算確保に向けて国、県の補助金推薦に必要な温室効果ガス排出量の削減目標の個別計画が必要であり、R7年度に策定をしていく。

問 遺跡の価値が高い上ノ平遺跡の保護、保存と今後の活用についての取り組みは。村の指定をして県の指定を受けていかないか。

教育長 上ノ平遺跡はH7年に墓地公園の造成計画工事と土地開発公社が宅地造成工事を行うにあたり緊急発掘調査をおこなった。発掘調査で縄文土器をはじめ、さまざまな時代の遺物が出土し、歴史を伝える重要な遺跡であると認識をしている。現状のまま保護していくために文化財専門委員会に諮り、村指定史跡として将

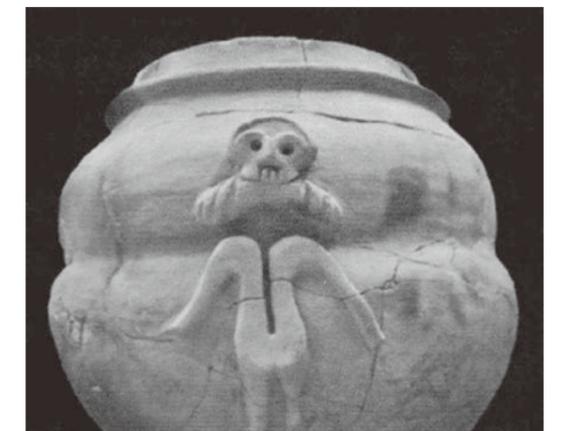
来にわたり保護する遺跡と周知していきたい。また、県の文化財保護委員、専門的な知識を持つ学識経験者など文化財保護活動に携わる人からの意見を聞きながら情報収集をして取り組んでいく。気楽に出土品を見る機会を大事にしていく。

問 人体文付有孔罎付土器にニックネームを付けないか。

教育長 人体文付有孔罎付土器は、考古学の愛好家の間では大変有名な土器である。村政150周年に合わせるのは難しいが、知名度が高い土器なので全国から広く募集をしたい。愛される名前をつけることができれば、村の活力、PRになる。よい機会と考え前向きに検討していく。

問 北原工業団地の今後の進め方は。

村長 北原工業団地は農業振興地域でH21年の農地法改正で通常の手続きでは工業用地として活用が難しい状況である。10年以上見通しを示せていない。地権者が相続等で変わるケースもあり、土地活用の観点から現状のまま先延ばしすれば不利益も生じる可能性もあるため、一旦白紙にするお知らせをした。



人体文付有孔罎付土器



問 春・秋2回の一斉清掃デー創設を

答 衛生部長会等と相談しながら検討する(村長)

加藤 泰久

問 春・秋2回の一斉清掃デーの創設を。

村長 現状では県の「ごみゼロの日統一美化キャンペーン」に合わせて春に一斉行動を行い、夏は天竜川河川清掃・植物駆除作業を行っている。秋の一斉清掃については、豊かな自然を守る意味でも自治会に協力をお願いしたい事項であり、衛生部長会等と相談しながら検討したい。

マイナ保険証について

問 マイナンバーカードの保有率は。

住民環境課長 12月1日現在、村の人口が16,043人のうち保有数が12,310枚であり、保有率は76.7%となっている。

問 マイナ保険証の保有率は。

住民環境課長 10月1日現在、村の国民健康保険のマイナ保険証としての登録率は64.8%、後期高齢者医療保険の登録率は61.8%となっている。

問 高齢者や障がい者への対応は。

村長 暗証番号の入力や顔認証が難しく配慮が必要な人は、申請すれば紙の資格確認書を発行する。担当は健康医療課となる。

問 未登録者への対応は。

村長 現在手元にある国民健康保険証と後期高齢者医療保険の保険証はR7年7月末まで利用できる。その後は資格確認書が自動的に送られてくる。広報紙で周知をするが、心配な人は健康医療課に問い合わせを。

問 個人情報の保護対策は。

村長 マイナンバーカードのICチップに入っている情報は、氏名・住所・生年月日・性別の4つのみ。マイナ保険証だけでは税や年金、医療等に関する情報を引き出すことはできない。

情報を不正に出そうとすると自動的にICチップが破壊され、読み出せなくなるしくみとなっており、国としては個人情報保護に万全の対策を講じているとの説明である。

不登校について

問 村小中学校の不登校児童・生徒数は。

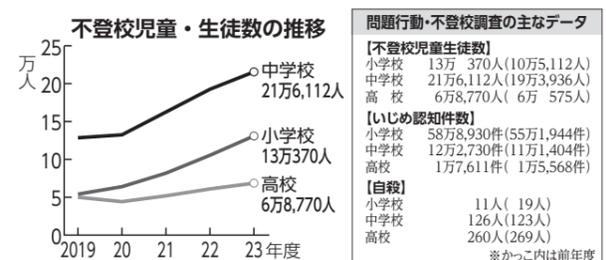
教育長 R4年度は南箕輪小24人、南部小6人、南箕輪中40人。R5年度は南箕輪小13人、南部小10人、南箕輪中40人。子どもたち一人ひとりの状況は違うということの中で、あえて人数だけ答える。

問 不登校の要因の調査・分析は。

教育長 1番多い要因は「学校生活にやる気が出ない」。次に、障がい起因する特別な教育支援に関しての相談が多く、不安・抑うつや生活リズムの不調に関しての相談が寄せられ、それらが要因となっていると思われる。これらの傾向は全国とほぼ同じと受け止めている。

問 対策・対応は。

教育長 学校現場での教育相談の継続、個別支援会議、家庭訪問の推奨、中間教室の活用、オンライン授業等による学びの場の確保に努めている。南原コミュニティセンターに開設した教育支援センター「だんだんクラブ」の活用、担任が子どもと向き合う時間を大事にする日課の検討も行っている。



文部科学省「23年度問題行動・不登校調査」



問 通勤時間帯の安全対策予算について

答 吹上線の整備など要求する(村長)

山崎 文直

問 6月定例会で、通勤時間帯の混雑解消や安全対策を質問した。R7年度予算編成に向けて具体的な対策事項はあるか。

村長 交通安全対策は、地区要望、通学路交通安全プログラムに基づき計画的に推進している。R7年度の基本方針はカーブミラー、路面標示、ガードレールなどの設置を行う。横断歩道や信号機などの設置には公安委員会に要望していく。通勤時間帯の混雑解消については、村内の現状を把握する中で関係機関の意見を聞き検証していく。混雑が多い西側エリアは、近隣の市と町と具体的な協議を行っていく。その中で年1回の警察、県議、建設事務所との現地調査を行っており、西側エリアの混雑解消につながる県道吹上線の整備がある。特に大泉地区の狭い箇所にはいろいろな案も出ている。

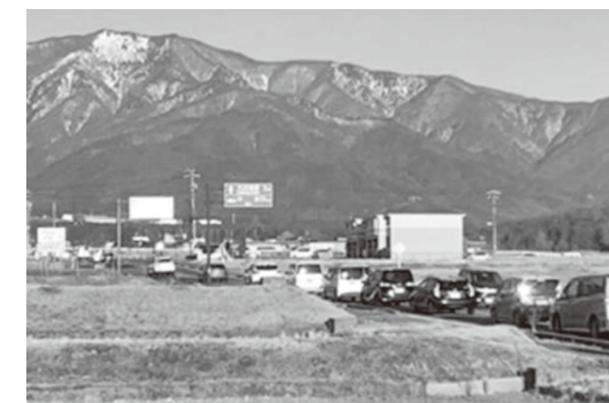
問 前回通学路の安全対策についても話があった。関係機関からの意見要望は。

村長 新たに出てきた要望は学校関係から多くあった。通学路安全推進協議会が集約している。「大泉区の吹上線の横断が危険」「塩ノ井旧道青の坂付近が緩やかなカーブになっていて歩行者が危険」「南原の広域農道の横断は車両のスピードが速く危険」「神子柴の外灯のない狭い通学路の防犯安全対策を進めてほしい」といった7件ほどの要望がある。これらは総務課、建設課、教育委員会、小中学校、県公安委員会等関係者が合同で現地確認を行い、通学路交通安全プログラムに落とし込み進めていく。

問 村民からAIを用いた信号機の設置の提案があった。効果があるのか。機器の開発の状況は。

村長 AIの信号機については情報が無い。独自に調べたところでは、AIが交通量や平均速

度、渋滞状況を予測して信号の制御を自動的に行う。現在は試験的に使われているが、交通量や車の燃費などの効果は数兆円とも言われ、導入はまだ先だ。



通勤ラッシュのようす

文化財保護の検討について

問 文化財保護や収蔵展示の現状や目標は。

教育長 文化財専門委員会は、7人で文化財の保護活動などを担っており、郷土館の見学者対応、文化財整備、古文書整理なども行っている。学芸員を募集しているが人材がない。現時点の目標としては、週1回の整理作業日に事務局職員も専門委員と一緒に整理を行い、整備と現状把握を進め、活用をどうするか検討していきたい。大芝荘では、大宗館の大事な資料の虫干しなどを行っている。

問 村内の画家からの寄付の申し出に対する収蔵品や展示について、検討の状況は。

教育長 村内の画家から寄付の話があり、現在も庁舎や村民センター内で7点掲示している。絵画が50点くらいと聞いており、速やかに収蔵先を検討する。文化祭や図書館での企画展示などを検討する。将来は新しい文化施設での展示も考える。



問 災害の備えとしてヘルプマークを利用しては

答 避難行動や避難所での生活において有効(村長)

西森一博

自主防災会について

問 自主防災会の役員が災害活動時に負傷したとき、公務災害補償の対象にできるか。

村長 自主防災組織は消防団のように非常勤公務員ではなく一般人である。村で防火防災訓練災害補償等共済制度に加入しているが、災害には適応されない。補償など今後検討したい。

問 各地区の自主防災会や防災士が連携し、区を超えて応援できる体制づくりを進めては。

危機管理課長 防災士は各地区自主防災会の運営や助言などをおこなっている。自主防災組織連絡協議会と防災士会で合同会議をしているが、相互協力には至っていない。自主防災会やボランティア、防災士との連携強化と応援体制の構築が防災・減災の強化につながると考えている。

福祉避難所について

問 災害が起きたら直ぐに福祉避難所に避難できると思っている人もいるが、福祉避難所の受入れ条件など、要配慮者とその家族に周知を進めているのか。

村長 福祉避難所の受け入れには人数制限や介護者同伴が必要であり、希望者全員がすぐに利用できるわけではない。今は広く周知されておらず、個別避難計画の作成時に要配慮者やその家族へ説明している。

問 避難所に要配慮者スペースの設置や、対応方法などのマニュアルが必要では。

村長 公民館など一般の避難所でも要配慮者の受け入れ体制は大切であり、要配慮者への対応を盛り込んだ避難所運営マニュアルを作成する予定である。



ヘルプマークとは
外見からでは分からない病気や障がいがある方で、援助や配慮を必要としていることを周囲に示すことで、手助けしやすくする。

医療救護所について

問 要配慮者の受け入れ想定と、医療救護所としての設備や備蓄の状況は。

村長 要配慮者に傷病がある場合は医療救護所で対応、医療ニーズがある場合は医療機関へ搬送する。健診センターが医療救護所となるため、役場の非常用発電で電力を確保し、飲料水などは災害対策本部の備蓄で対応する。

問 災害時医療救護活動マニュアルに沿った訓練を行っているのか。

村長 村では職員防災訓練で医療救護所の立ち上げを想定した訓練をおこなっており、今後も訓練を重ねていきたい。

個別避難計画について

問 避難を支援してくれる協力者がいない場合に、避難支援者をどう探すのか。

村長 突発的な災害の場合は共助となる地域の支援が必要、共助で補えない場合は公助となる行政職員が担当する。

問 災害の備えとして個別避難計画の対象者にヘルプマークやヘルプカードの所持を進めては。

村長 個別避難計画の作成時に必要と思われる方へ、趣旨や使い方を説明し案内していきたい。



問 法定外公共物はどのくらいあるか

答 数百から千か所程と捉えている(村長)

太田篤己

問 法定外公共物とは、道路法や河川法等が適用されない道路や河川などで、かつて所有は国・管理は県であったが、現在は市町村に譲与されている。代表的なものには、里道(赤線)、水路(青線)、ため池などがあると認識している。本村にはどのくらいの法定外公共物があるのか。

村長 数値的な資料は無く、現在地が表示されている一覧表と位置図を保管している。箇所数は概ね数百から千か所程と捉えている。



公図(旧土地台帳の附属地図)
赤く色分けされた里道(赤線)、青く色分けされた水路(青線)が判る(※公図資料は村と関連はない)

問 維持管理は、どのような規則に基づいて行われているのか。

村長 南箕輪村公共物管理条例や同条例施行規則に基づいて維持管理を行っている。財産的管理については村で行っているが、草刈りなど日常の管理については、昔から地域住民の日常生活に密着した公共的用途に使用されてきた面もあるため、従来からの慣習等によることや協働の観点から、地先の道路や水路の管理と同様に地域住民の協力を得ているところも多くあるのが現状である。水路については地元水利組合や土地改良区などとも連携して維持管理している。

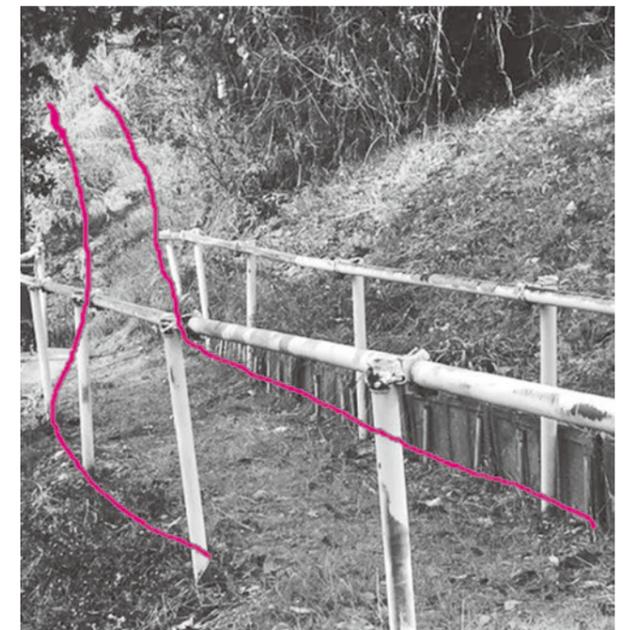
問 管理する土地の状況の確認の実施状況と方法、不法占用の有無については。

村長 道路パトロールや住民からの相談によりその土地の状況を個別に確認している。また、土地の形状等がわかりにくい箇所については、公図などを基に現状確認し把握をしている。

不法占用の有無についてはすべての箇所を確認することは困難である。住民や土地改良区などからの相談により個別具体的な対応を行っており、今のところ不法占用の箇所や問題は把握していない。

問 法定外公共物の土地の購入申し込みはどのくらいあるのか。村として売り払いできることについて広報を行っているか。

村長 購入申し込みは直近5年間で4件ある。売り払いの広報は、H17年2月号村報で特集して以降実績は無い。機能に支障がないものしか売り払いができないので積極的に広報は行っていない。



手すりの先から原野になっている里道(赤線)



問 学校給食センター所長は教育次長の兼務でよいのか

答 兼務しなくてもよいのではと思う(教育長)



唐澤由江

問 教育次長が学校給食センター所長も兼務しているが、好ましくないのではないかと。新たに課長職で抜擢してほしかった。4月の機構改革により学校教育係がこども館に。公民館に館長と活動推進員が、村民センターは主事と社会教育係と別々になった。連携がうまくいっていないのでは。公民館は人手不足でシルバーの予算も削られたという。どう工夫しているか。

教育長 教育次長は学校給食センター所長として兼務。安全安心な給食の提供と検食、ランチ時の挨拶、視察対応などこなしている。私としては兼務しなくてよいと思う。係間の連携を大事にしていく。

問 図書館は開館から31年経過し、狭いという声がある。知の拠点として図書館の果たす役割は大きい。自主学习スペース、学習室、H20年建設の世代間交流施設もある。改修計画は。

教育長 開館当時から、人口は1.4倍、蔵書4.7倍、貸出冊数1.4倍に伸びた。「居心地の良さ」「醸し出す雰囲気」を大事にしつつ、拡張できないか検討しているが難しさがある。本棚や備品の移動等レイアウトで工夫をしたい。

中学校部活動について

問 中体連の成績報告のための窓口は。

教育長 学校の教育活動ということで中学校の教頭が窓口。全国レベルのスポーツ等の競技会に出場するときは社会教育係が窓口となる。

問 助成はどういうものか。

教育長 部活動に対しては部活の各種大会の登録参加費や団体負担費、吹奏楽部の楽器輸送費、ユニフォーム更新費用等、中学校に対する補助金などで助成している。

問 部活以外個人で練習するときの施設使用

料が他市町村より高い。基準の見直しを。

教育長 他市町村のことも承知している。ご理解を。部活動使用は減免している。

西天竜用水路の脇の環境整備について

問 R6年の耕地係の事業内容は。

産業課長 S63年からH5年にかけ、県営伊那西部土地改良事業で、大芝・大泉・北原の雨水排水路として整備され30年が経過。これまで管理が行き届かず、土砂が堆積、草木が繁茂していた。維持管理適正化事業補助金を活用し、工事費697万円うち国・県補助は300万円だ。

上下水道の耐震化について

問 能登半島地震を受け、全国緊急点検の結果が悪く15%だ。R7年1月までに計画策定が求められているが村の対応は。

村長 村では水道ビジョン、アセットマネジメント等の計画がある。安全安心な上下水道耐震化計画を策定する。H9年以前に施工した箇所、塩ビ管以外は対策ができていない。現在はヒューム管やマンホール継ぎ手について耐震工事を実施。避難所、各地区公民館、保育園、小中学校など災害対策拠点施設を中心とする。

選挙投票率向上の取り組みについて

問 上伊那で投票率は村が一番低い。大学企業商業施設などに、モバイル投票所を設置しては。

選挙管理委員会職務代理

若者の投票率を上げるため有効な取り組みだ。人員体制や投票所の機材等検討したい。



村民センターの館内窓口

村に対し要望書提出

総務経済常任委員会 12/18

長野県南信工科短期大学校就学者に対する補助金等支給を求める要望書

総務経済常任委員会では、村境視察時に行われた長野県南信工科短期大学校(以下「工科短大」という。)学校関係者との懇談会において、本村住民に対する奨学金、助成金等独自の補助金制度がないことが話題になり、このことについて検討した。

工科短大は、2016年地域社会を支える「ものづくりのスペシャリスト」を育成するために設置され、以降卒業生の多くが地域のものづくり企業へ就職しており地域貢献度が高い。一方、伊那谷各市町村が独自の就学者支援制度を設けているが、本村住民に対する村の支援制度はなく、住民からも補助金制度を求める声が上がっている。

補助金支給は、総合戦略基本目標1「立地特性を生かした職住近接のむらづくり」の施策としてコストパフォーマンスは高いと考えられ、村による工科短大就学者への補助金等支援について下記のとおり求める。

記

1. 「長野県南信工科短期大学校就学助成金【返済義務なし】」制度の創設を早急に検討し実施されたい。

以上

村境と南信工科短大を視察

10/30

南原区と伊那市との境界を視察してから、南信工科短大を訪問。機械システム学科と電気システム学科について、説明を聞いたのち校内を視察。エンジニアを育成するため、授業の多くを実習に割り当てており、最新の機器を使って実習ができる環境が整っていた。卒業後は地元へ就職しており、地域の人材育成に貢献している。



村に対し要望書提出

福祉教育常任委員会 10/11



「教育関係者との懇談会」をもとにした要望書

福祉教育常任委員会では、「教育関係者との懇談会」で出された要望を受け、各学校施設を視察した結果、対応が必要であると判断した事項をまとめました。

環境を整え、児童・生徒や教育関係者が安心して学校生活を送るために、下記要望事項の早期実現を求めます。

記

1. 南箕輪小学校
 - 旧給食センター内の備品、調理機器等のリサイクルを含めた処分を行い、空いたスペースを早期に有効利用されたい。
 - まなびの教室、そよかぜ教室において適切なスペース活用ができるよう、パーティション利用など必要な設備を検討されたい。
 - 移動介助が必要な児童に配慮した教室の配置や移動方法の検討など、エレベーターの設置も視野に検討されたい。
 - こども館北側駐車場北側の土地を、新たな駐車場候補地として検討をされたい。
 - 校庭東側斜面を業者委託管理とする検討をされたい。
2. 南部小学校
 - トイレの洋式化を早期に着手されたい。
 - 雨漏りしている廊下を早期修繕されたい。
 - グラウンド南の林整備を早期に実施されたい。
 - 体育館北側を舗装整備し、駐車場としての利用を検討されたい。
 - 昨年要望した南側駐車場進入路を早期に整備されたい。
3. 南箕輪中学校
 - 特別支援学級の教室数不足や教員用休憩室、教員用ロッカールームの整備に対応するため、増築も含めた検討をされたい。
4. こども館
 - 利用目的を明確化し、「こどもまんなか」のこども館として機能するよう、活用方法の検討をされたい。
5. 学校施設全体
 - 計画的に床の塗装を実施されたい。
 - 階段蹴り込み部分の剥がれを早期に補修をされたい。

以上

村に対し要望書提出

福祉教育常任委員会 10/11



障がい者等の「大芝の湯家族風呂」利用に対する補助を求める要望書

福祉教育常任委員会では、「村民の声を聴く会」で出された要望の中から、緊急性が高いと思われる、障がい者等の「大芝の湯家族風呂」の利用料について検討しました。大芝の湯大浴場の利用が難しい障がい者等の家族風呂利用を補助する必要があると判断し、村による家族風呂の利用料の補助を求めるものです。

記

1. 障がい者等の家族風呂利用料を大浴場の入浴料と同額とする。

以上

福祉教育常任委員会 12/18



スポーツ推進係(仮称)設置に関する要望書

本村のスポーツ推進に関する施策をより効果的に推進していくための計画として『第3次南箕輪村スポーツ推進計画』が策定されましたが、現在担当部署には専門の担当者がいない状況です。豊かなスポーツライフの創造を実現する取り組みと、中学生の地域クラブ移行を進めていくためにも、専門の担当者は必要であると考えます。年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツを楽しみ健康で暮らせる村を実現するために、以下の要望をいたします。

記

1. 教育委員会事務局に、スポーツに関する専任者複数人によるスポーツ推進係(仮称)の設置を、速やかに検討されたい。

以上

村内12地区で『村民の声を聴く会』を開催しました！

令和6年度も村内12地区に出向き『村民の声を聴く会』を開催しました。会場の手配などご協力くださった地区のみなさまに感謝申し上げます。

今回も参加したみなさま一人ひとりから、多くのご意見をいただくことができました。



■大泉区(令和6年5月17日)



■南原区(令和6年5月18日)



■南殿区(令和6年5月18日)



■塩ノ井区(令和6年5月19日)



■北原区(令和6年6月30日)



■田畑区(令和6年6月30日)



■大芝区(令和6年7月13日)



■神子柴区(令和6年7月13日)



■沢尻区(令和6年7月20日)



■北殿区(令和6年7月20日)



■久保区(令和6年8月10日)



■中込区(令和6年8月17日)

参加者アンケートに寄せられたご意見

- 気軽に意見を出し合える会で良かった。
- もっと若い人が参加してくれると良い。
- 村民の声を聴く会での案件をまとめて進捗状況を知りたい。
- 漠然としていて参加しづらい。

村へ要望書提出

出されたご意見の中から村への要望をまとめ、12月18日に「村民の声をもとにした要望書」を提出しました。



令和6年12月18日

南箕輪村長 藤城 栄文 様
南箕輪村教育長 清水 閑成 様

南箕輪村議会議長 原 源次

村民の声をもとにした要望書

南箕輪村議会は今年度も村内12地区に出向き『村民の声を聴く会』を開催しました。それぞれの地区で出された意見をまとめ、今後の村政運営に役立て、村民の利益に資するため、ここに要望いたします。

記

1. 南箕輪村単身入居障がい者家賃補助金について、単身入居だけでなく結婚しても家賃補助を受けられるよう、対象者の拡大を検討されたい。
2. 地区公民館の修繕費補助金、バリアフリー改修に伴う補助金の補助率引き上げを検討されたい。また、公園土地取得や増改築に対する補助金を検討されたい。
3. 小中学生の遠距離通学に対し、スクールバス活用の範囲拡大を検討されたい。
4. 北殿駅の通学時間帯における混雑緩和のために、駐車スペースの確保や車両の流れを工夫するなど、対策を検討されたい。

以上

参加していただいたみなさま、ありがとうございました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かしてまいります。

ありがとうございました



きらきら村の仲間たち

今回は、南箕輪の少林寺拳法講座「わくわく拳法」にスポットを当て、インタビューしました。

●「わくわく拳法」とは？

コロナ禍の2021年4月、南箕輪の少林寺拳法講座として開講。大人も子どもも始めることができ、親子や兄弟で楽しむのはもちろん、新しい仲間を県内外にどんどん広げて心と体の修練に励んでいます。大会のほかにもさまざまなイベントがあり、自分の考えを発表する場を用意してリーダー性が芽生え育つ工夫をしています。

●「少林寺拳法」とは？

香川県多度津町で始まった日本生まれの武道。決してこちらから攻撃を仕掛けることはなく、どんな攻撃をされても相手の力を利用して攻撃を封じ、平和に物事をおさめる究極の護身術です。そのため、力任せに突いたり蹴ったりするのではなく、常に原理を考えた多くの技を、時間をかけて習得していきます。



2024年度長野県大会団体演武 優勝！



修練のようす 合掌礼という礼をします



団体演武 蹴りの瞬間はカッコいいです

指導者
すずき ひでひと
鈴木 英仁さん



- 趣味・特技 食べ歩き
- チャームポイント 強固な上腕
- 好きな音楽 なんでも
- 座右の銘 思いついたら即行動
- 好きなもの フルーツ
- 嫌いなもの なし

責任者
あまだ みさき
天田 美咲さん



- 趣味・特技 辞書調べ
- チャームポイント 相対音感
- 好きな音楽 苔地蔵@無方
- 座右の銘 自業自得
- 好きなもの 霧
- 嫌いなもの 蒸し暑い雨

はら あきひろ
原 彰弘さん



- 趣味・特技 映画鑑賞
- チャームポイント 白髪
- 好きな音楽 バリバリのロック
- 座右の銘 早起きは三文の徳
- 好きなもの ラーメン
- 嫌いなもの もずく

くらた のぞみ
倉田 希さん



- 趣味・特技 カラオケ
- チャームポイント ??
- 好きな音楽 B'z
- 座右の銘 平和は微笑みから始まる
- 好きなもの チョコレート
- 嫌いなもの 遠出

はら きょうしろう
原 京志朗さん
(南部小6年)



- 趣味・特技 絵を描くこと
キックベース
- チャームポイント 手がカサカサ
- 好きな音楽 ナイトダンサー
- 座右の銘 失敗は成功のもと
- 好きなもの メロン
- 嫌いなもの 貝類

しまた みきと
嶋田 樹人さん
(南部小3年)



- 趣味・特技 絵を描くこと
- チャームポイント 寿限無が言える
- 好きな音楽 ゲーム音楽
- 座右の銘 誰にも失敗はある
- 好きなもの チョコレート
- 嫌いなもの 雑草

しまた たかゆき
嶋田 孝之さん



- 趣味・特技 モノ作り
- チャームポイント くるんとなる襟足
- 好きな音楽 ゲーム音楽
- 座右の銘 まずはやってみる
- 好きなもの コーヒー
- 嫌いなもの 花粉

キャプテン
しまた たすき
嶋田 匡希さん(南箕輪中1年)



- 趣味・特技 ビデオゲーム
読書
- チャームポイント 長いまつげ
- 好きな音楽 YOASOBI
- 座右の銘 我が道を創る
- 好きなもの ピーマン
- 嫌いなもの 刺さるもの

さくらい せいのすけ
櫻井 靖之助さん
(南箕輪小6年)



- 趣味・特技 ゲーム
英語、少林寺拳法
- チャームポイント なし
- 好きな音楽 最高到達点・SEKAI NO OWARI
- 座右の銘 一心不乱
- 好きなもの ラーメン
- 嫌いなもの 魚介類

さくらい そうじろう
櫻井 創二郎さん
(南箕輪小4年)



- 趣味・特技 ゲーム
少林寺拳法
- チャームポイント 転んで切った眉毛のキズ
- 好きな音楽 Bling Bang Bang Born
- 座右の銘 やればできる
- 好きなもの 猫
- 嫌いなもの げじげじ



広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

議会に対するご意見

- 福祉入浴券は我が家にも毎年送られてきますが、高齢のため入浴に使うことはしていません。大芝の味工房等で使えるようですが、そこまで行く手段がないと結局使わずに終わってしまいます。なにか他のかたちに変えることはできないのでしょうか。
- マイナ保険証には反対です。現行保険証を残してほしいという国民も多くいます。もう見直しは難しいのでしょうか。
- 福祉教育常任委員会、小中学校の関係者と意見交換を行ったとのこと。生徒や保護者の立場から考える現状や課題も福祉教育常任委員会にきちんと伝わっているのか。次の議会だよりが楽しみです。
- 議会活動の一環として、福祉教育常任委員会の保育を守るための要望が紹介され、その要望や回答から、議会・村とも、よりよい保育を目指して活動等されていることが十分伺われました。ただ、要望1に対する回答を見て、最近報じられた近隣自治体のこともあり、要望の趣旨はそういうことだったのかな、とも思いました。また、議会ホームページにはこうした要望のほか、提言も「村への要望など」として掲載されています。けれども、提言は村議会基本条例に責務とされていますので、例えば「提言と要望」というように、提言という言葉も入っていればよりよいのではないかと思います。
- 石破首相に代わり、地方創生、東京一極集中是正といった声が高まっています。そうは言っても、働く場所、稼ぐ力は、当村を含め田舎は大都市に比較すればかなりの開きがあります。そんな状況で、若者を田舎に呼び戻すとか、移住の促進と言っても限界があります。南箕輪村としては、特色のある地域環境、魅力ある職場を訴求し、まず「関係人口」の拡大を推進していくべきではないでしょうか。議員には、そういった視点・コンセプトでの村おこし活動を展開していただきたいと思えます。
- モバイルトイレ購入について(身障者には是非とも必要ですね)、高額な買い物になるので、他市町村や他県の災害の際には貸し出すルール作りが必要かと思えます。

寄せられた質問

- 各議員の一般質問内容ですが、村を良くするためにバランスよく質問がされているように思います。他の議員との重複がないように事前調整をしているのでしょうか。また、実際の議会では重複することはないのでしょうか。
- 回答 これまでは重複することがありましたが、今定例会からは調整することにしました。
- VC長野トライデンツスポンサー料について
- ①どのようなきっかけで支援するようになったのか
- ②村から支出する金額、応援態勢はどうなっているか
- ③上伊那の他市町村も同じようにスポーツ団体を支援しているのか
- 回答 ①以前から南箕輪村を拠点として練習など行っていましたが、2016年にVリーグのV1に昇格したのをきっかけに、村とスポンサー契約を交わし、ユニフォームに「南箕輪村」と入れるようになりました。2018年にスポーツ活動推進を基軸とした活力あるむらづくりを推進することを目的に連携協定を締結しました。
- ②R6年度はスポンサー料として220万円、バナー広告料として80万3000円、クラウドファンディングで集まった寄付金を充てた8,000万円を支出しています。応援体制としてはVC長野の活動を積極的に広報し、試合のパブリックビューイング、ホームゲーム観戦チケットプレゼント、学校での「朝のあいさつ運動」、選手による保育園児や高齢者との交流事業を行い、応援する機運を高めています。また、村民体育館を練習場所として提供しています。
- ③上伊那では箕輪町が松本山雅のホームタウンとなっています。県内のVC長野を支援する市町村は松本市、岡谷市、安曇野市、下諏訪町、高森町、阿智村です。



↑1147号(前号)誌面に対する
ご意見・ご感想はこちらから



↑議会だより147号

編集後記

今年は穏やかな年明けとなりました。議会では安全安心な村づくりのために、みなさんの声を要望書として提出しました。今号は『中学生議会2024!』を掲載しています。中学生の意見と村の答弁に注目を。ぜひ感想をお寄せください。今後も双方向での誌面づくりに向け、改善を進めてまいります。
(三澤澄子)

広報委員会委員長	三澤 澄子
副委員長	笹沼 美保
委員	西森 一博
	山崎 文直
	百瀬 輝和
	太田 篤己
	唐澤 由江